

教科	科目	学年	単位数
中学社会	地理	1 年	3
使用教科書		副教材	
中学生の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）		地理統計（帝国書院） アクティブ地理総合（浜島書店）	

1. 学習到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次の通り育成することを目指す。

- (1)我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- (2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基にした議論したりする力を養う。
- (3)日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。
- (4)「知識・技能の習得」・「思考力・判断力・表現力」・「自ら積極的に学ぶ力」の3本柱を重要視する。地図や写真、統計などさまざまな資料を用いて自らの力で調べて考え、多角的・多面的に考察して表現する活動をおこなう。レポート作成や発表など、本高校探究系に進学するために必要な能力を身につける。

2. 評価

定期試験・確認テストの評価を基本としそれに提出物や学習の様子、実力テストを加味して適切に評価する。

(1)知識・技能

我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

(2)思考・判断・表現

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(3)主体的に学習について取り組む態度

日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3. 学習内容（表参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

地図や統計資料を参考にするほかに、ICT 機器を使用する。また必要に応じて学習内容を発展・拡充し取り扱う。

	月	単元・試験	授業内容	その他 (到達目標・学習のポイントなど)
一 学 期	4	探究課題① 世界国名しりとり	・基礎的な地理知識を確認する	・世界の国々に対する興味・関心を深める。
		第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	・地球儀と世界地図の比較 ・地球上の位置 ・世界の国々と地域区分 ・おもな国々の国名と位置	・世界全体の構図や国々の位置などをおおまかに把握する。 ・緯度・経度を用いて位置を把握し、また季節との関連を考察する。
	5	第2章 日本の姿 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	・日本の位置と世界との時差 ・日本の領域の特色 ・領土をめぐる問題 ・日本の都道府県 ・世界の様々な気候 ・様々な気候で暮らす人々	・世界の中の日本の位置に着目し、他国との関係を知るきっかけを作る。 ・日本の領域の特徴と領土をめぐる課題について理解する。 ・日本の地域の区分を理解する。 ・世界の気候とそこに暮らす人々の生活の特徴を理解する。
		第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 定期試験	・人々の暮らしと宗教 ・中国・インドの経済成長 ・急速に変化するインドネシア ・西アジアと中央アジアの経済成長 ・ヨーロッパの文化の共通性 ・進むヨーロッパ統合 ・ヨーロッパの課題とロシア連邦	・世界の諸地域の生活、文化、歴史的背景などの特色を地球儀や地図帳を活用し概観する。 ・統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を学ぶ。
	7	3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ	・開発が進むアフリカ。 ・工業化した農業と工業地域 ・多民族多文化社会の生活・文化 ・自然環境との共生と開発の進行	・世界の諸地域の様々な地理的事象を見だし、地域的特色に対する関心を高める。
		6節 オセアニア州	・資源によるアジアとのつながり ・人々によるアジアとのつながり	・各項目の地理的事象についてはおおまかな理解ができればよい。
	二 学 期	第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 中間試験	・世界の造山帯と火山活動 ・地震や台風などの災害 ・日本の山地、海岸、平野、川 ・少子高齢化と過疎過密	・日本の自然と気候と自然災害と防災への取り組みについて考察する。 ・地形図の読み取り方を理解する。
		探究課題② 創作!オリジナル世界地図	・第2編の学習内容を生かして、自然・歴史・産業など独自の観点に基づいた世界地図を作製する。	・自国の伝統文化だけでなく、異文化をも尊重する関心・態度を涵養する。
		第2章 日本の地域的特色	・鉱産資源の分布とエネルギー資源 ・日本の資源・エネルギー問題 ・日本の諸産業 ・グローバル化が進む世界 ・日本各地を結ぶ交通・通信	・世界や日本の資源・エネルギー問題と環境問題と関連づけて学ぶ。 ・日本の産業の特色と課題について世界の産業と比較し関連づけて考察する。
		第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方	・環境問題や環境保全と人々の暮らし ・都市と農村の変化と人々の暮らし	・環境問題や環境保全を中核とした考察をもとに地域的特色を理解する。 ・人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解する。
	12	3節 近畿地方 4節 中部地方 期末試験	・歴史の中で形成された人々の暮らし ・活発な産業を支える人々の暮らし	・歴史的背景および産業を中核とした都市の地域的特色について学ぶ。

	1	5 節 関東地方 6 節 東北地方	・さまざまな地域と結びつく人々のくらし ・伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらし	・東京と関東、関東と他地方、関東と世界各地との結びつきを考察する。 ・祭りや伝統産業を中心に生活・文化を中核とした地域的特色を学ぶ。
	2	7 節 北海道地方 学年末試験	・雄大な自然とともに生きる人々のくらし	・自然環境を中核とした考察を基に地域的特色を理解する。
	3	探究課題③ 再発見!わが郷土 (第 1 章地域調査の手法 第 4 章身近な地域の調査)	・地形図を読み取り、文献、統計、写真などの資料を調べて身近な地域の将来像を考察する。	・さまざまな資料の読み方、調査結果のまとめ方を学ぶ。